

## 第4章 対象事業に係る環境影響評価の項目の選定

### 4-1 環境影響評価項目の選定

本事業に係る環境影響評価の項目は、「発電所の設置又は変更の工事業に係る計画段階配慮事項の選定並びに当該計画段階配慮事項に係る調査、予測及び評価の手法に関する指針、環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針並びに環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」（平成10年通商産業省令第54号、以下、「発電所アセス省令」という。）第21第1項第1号に定める「水力発電所（別表第1）備考第2号」に掲げる一般的な事業の内容と本事業の内容との相違を整理して把握した上で、本事業の事業特性及び地域特性を踏まえ、発電所アセス省令第21条の規定に基づき、第4-1-1表のとおり選定した。

なお、環境影響評価の項目の選定に当たっては、発電所アセス省令等について解説された「改定・発電所に係る環境影響評価の手引き」（経済産業省 平成27年7月改訂、以下「発電所アセスの手引き」という。）を参考にした。

第 4-1-1 表 環境影響評価の項目の選定

環境要素の区分				影響要因の区分			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用		
				大気環境	水環境	その他の環境	工事前資材等の搬出入	建設機械の稼働	造成等の施工による一時的な影響	地形改変及び施設の存在	貯水池の存在	河水の取水
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	窒素酸化物	○	○							
			浮遊粒子状物質	○	○							
			粉じん等	○	○							
		騒音	騒音	○	○							
		振動	振動	○	○							
	水環境	水質	水の汚れ								○	
			富栄養化									
			水の濁り			○						
			溶存酸素量									
			水素イオン濃度			○						
			水温									
			地下水水質				○					
	その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質									
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地	○	○	○	○	○	○	○			
	植物	重要な種及び重要な群落			○	○	○	○	○			
	生態系	地域を特徴づける生態系			○	○	○	○	○			
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観					○					
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○									
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	産業廃棄物			○							
一般環境中の放射性物質について、調査、予測及び評価されるべき環境要素	放射線の量											

注 1   は主務省令の「参考項目」であることを示す。

2 ○は環境影響評価の項目として選定したものを示す。

3 ゴシック書体は、経産大臣勧告及び県知事意見を踏まえ、方法書記載内容から追加した項目を示す。

#### 4-2 環境影響評価項目の選定理由

環境影響評価の項目として選定した理由は第 4-2-1 表(1)～(3)のとおりである。

参考項目について、発電所アセス省令第 21 条第 4 項の規定に基づき、環境影響評価の項目として選定しない理由は第 4-2-2 表(1)～(2)のとおりである。

なお、方法書に記載した内容から見直しを行った事項については、**ゴシック書体**で記載した。

第4-2-1表(1) 環境影響評価の項目として選定した理由

環境要素		影響要因		環境影響評価項目として選定する理由	
大気環境	大気質	窒素酸化物	工事の実施	工所用資材等の搬出入	工所用車両の走行により、周辺の交通量が増加することから、評価項目として選定した。
				建設機械の稼働	建設機械の稼働に伴って発生する窒素酸化物の影響は小さいと考えられるが対象事業実施区域の近傍に民家等が存在することから評価項目として選定した。
		浮遊粒子状物質	工事の実施	工所用資材等の搬出入	工所用車両の走行に伴って浮遊粒子状物質が飛散し周辺地域に対して影響を及ぼすおそれがあることから、評価項目として選定した。
				建設機械の稼働	建設機械の稼働に伴って浮遊粒子状物質が飛散し周辺地域に対して影響を及ぼすおそれがあることから、評価項目として選定した。
	粉じん等	工事の実施	工所用資材等の搬出入	工所用車両の走行に伴って粉じん等が飛散し周辺地域に対して影響を及ぼすおそれがあることから、評価項目として選定した。	
			建設機械の稼働	建設機械の稼働に伴って粉じん等が飛散し周辺地域に対して影響を及ぼすおそれがあることから、評価項目として選定した。	
	騒音	騒音	工事の実施	工所用資材等の搬出入	工所用車両の走行に伴って騒音が発生し、走行経路沿道の地域に対して影響を及ぼすおそれがあることから、評価項目として選定した。
				建設機械の稼働	建設機械の稼働に伴って騒音が発生し周辺地域に対して影響を及ぼすおそれがあることから、評価項目として選定した。
	振動	振動	工事の実施	工所用資材等の搬出入	工所用車両の走行に伴って振動が発生し、走行経路沿道の地域に対して影響を及ぼすおそれがあることから、評価項目として選定した。
				建設機械の稼働	建設機械の稼働に伴って振動が発生し周辺地域に対して影響を及ぼすおそれがあることから、評価項目として選定した。
水環境	水質	水の汚れ	土地又は工作物の存在及び供用	河水の取水	減水区間の増加はないが、増取水により流況が変化し、水の汚れに対して影響を及ぼすおそれがあることから、評価項目として選定した。
		水の濁り	工事の実施	造成等の施工による一時的な影響	工事中の掘削、コンクリート工事等に伴い濁水が発生するおそれがあることから、評価項目として選定した。
		水素イオン濃度	工事の実施	造成等の施工による一時的な影響	工事中のコンクリート工事に伴い、高アルカリ性工事用水が発生するおそれがあることから、評価項目として選定した。
		地下水水質	工事の実施	造成等の施工による一時的な影響	導水路の掘削により、地下水が地山から湧出し、河川水質に影響を与えるおそれがあることから、評価項目として選定した。

第4-2-1表(2) 環境影響評価の項目として選定した理由

環境要素		影響要因		環境影響評価項目として選定する理由	
動物	重要な種及び注目すべき生息地	工事の実施	工所用資材等の搬出入	対象事業実施区域周辺では、貴重な動物が確認されており、希少猛禽類の生息情報もあることから、評価項目として選定した。	
			建設機械の稼働	対象事業実施区域周辺では、貴重な動物が確認されており、希少猛禽類の生息情報もあることから、評価項目として選定した。	
			造成等の施工による一時的な影響	対象事業実施区域周辺では、貴重な動物が確認されており、希少猛禽類の生息情報もあることから、評価項目として選定した。	
		土地又は工作物の存在及び供用	地形改変及び施設の使用	地形改変等により、動物の生息環境への影響が考えられることから、評価項目として選定した。なお、第三土捨場は現状で重機等の仮置場として使用されており、自然植生はほぼ失われ、陸生動物はほぼ生息していないことから、調査対象としない。	
		河水の取水	減水区間の増加はないが、増取水により流況が変化し、重要な動物種及び注目すべき生息地の環境に影響を及ぼすおそれがあることから評価項目として選定した。		
植物	重要な種及び重要な群落	工事の実施	造成等の施工による一時的な影響	重要な種及び重要な群落が確認された場合には、造成等の施工による一時的な影響が考えられることから、生育状況を確認するために評価項目として選定した。	
			土地又は工作物の存在及び供用	地形改変及び施設の使用	地形改変等により、植物の生育環境への影響が考えられることから、評価項目として選定した。なお、第三土捨場は現状で重機等の仮置場として使用されており、自然植生はほぼ失われていることから、調査対象としない。
			河水の取水	減水区間の増加はないが、増取水により流況が変化し、重要な種及び重要な群落の生育環境に影響を及ぼすおそれがあることから評価項目として選定した。	
生態系	地域を特徴付ける生態系	工事の実施	造成等の施工による一時的な影響	造成工事により、地形の改変、現状植生の改変が行われることから、評価項目として選定した。	
			土地又は工作物の存在及び供用	地形改変及び施設の使用	地形改変等により、現存植生や動物の生息環境への影響が考えられることから、評価項目として選定した。
			河水の取水	減水区間の増加はないが、増取水により流況が変化し、生態系に影響を及ぼすおそれがあることから評価項目として選定した。	

第4-2-1表(3) 環境影響評価の項目として選定した理由

環境要素		影響要因		環境影響評価項目として選定する理由
景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	土地又は工作物の存在及び供用	地形改変及び施設の存在	新たな施設の建設に伴い、主要な眺望点からの眺望景観が変化することが考えられることから、評価項目として選定した。なお、第三土捨場は現状で重機等の仮置場として使用されており、国道、集落からもほとんど見えないため、調査対象としない。
人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	工事の実施	工事中資材等の搬出入	計画している輸送経路周辺には、主要な人と自然との触れ合いの活動の場が存在することから、評価項目として選定した。
廃棄物等	産業廃棄物	工事の実施	造成等の施工による一時的な影響	工事に伴い、産業廃棄物が発生することから、評価項目として選定した。

第4-2-2表(1) 環境影響評価の項目として選定しない理由

環境要素		影響要因		環境影響評価項目として選定しない理由	根拠	
水環境	水質	水の汚れ	土地又は工作物の存在及び供用	貯水池の存在	対象事業では貯水池を建設しないことから、評価項目として選定しない。	第1号
		富栄養化	土地又は工作物の存在及び供用	貯水池の存在	対象事業では貯水池を建設しないことから、評価項目として選定しない。	
		水の濁り	土地又は工作物の存在及び供用	貯水池の存在	対象事業では貯水池を建設しないことから、評価項目として選定しない。	
		溶存酸素量	土地又は工作物の存在及び供用	貯水池の存在	対象事業では貯水池を建設しないことから、評価項目として選定しない。	
		水温	土地又は工作物の存在及び供用	貯水池の存在	対象事業では貯水池を建設しないことから、評価項目として選定しない。	
その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質	土地又は工作物の存在及び供用	地形改変及び施設の存在	対象事業実施区域周辺には小滝ヒスイ産地、高浪の池などの重要な地形が存在するが、対象事業によって直接改変を受けないことから、評価項目として選定しない。	第2号
				貯水池の存在	対象事業では貯水池を建設しないことから、評価項目として選定しない。	
動物	重要な種及び注目すべき生息地	土地又は工作物の存在及び供用	貯水池の存在	対象事業では貯水池を建設しないことから、評価項目として選定しない。	第1号	
植物	重要な種及び重要な群落	土地又は工作物の存在及び供用	貯水池の存在	対象事業では貯水池を建設しないことから、評価項目として選定しない。		
生態系	地域を特徴付ける生態系	土地又は工作物の存在及び供用	貯水池の存在	対象事業では貯水池を建設しないことから、評価項目として選定しない。		

第4-2-2表(2) 環境影響評価の項目として選定しない理由

環境要素		影響要因		環境影響評価項目として選定しない理由	根拠
景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	土地又は工作物の存在及び供用	貯水池の存在	対象事業では貯水池を建設しないことから、評価項目として選定しない。	第1号
人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	土地又は工作物の存在及び供用	地形改変及び施設の存在	対象事業の実施によって、土捨場脇を通る「塩の道トレイル」の直接改変は生じない。トレイルの全長120kmのうち第一土捨場と接する距離は500mで、土捨場法面が直接見える距離は150m程度となる。 また、第一土捨場付近は一車線の舗装路で人工的な法面も多く、景観の違和感は少ないものと考えられる。 なお、土捨場の高さは最大20mであるが、道路から10m以上控えたところから盛土し、視線が向いたときの印象を和らげるよう計画している。 以上のことから、評価項目として選定しない。	第1号
			貯水池の存在	対象事業では貯水池を建設しないことから、評価項目として選定しない。	第1号
			河水の取水	減水区間の増加が無いこと、工事中及び運転開始後も河川維持流量を放流すること、対象事業実施範囲周辺に親水公園や河川公園が存在しないことから、評価項目として選定しない。	第2号
放射線の量	工事の実施	工所用資材等の搬出入 建設機械の稼働 造成等の施工による一時的な影響	対象事業実施区域周辺の空間放射線量は新潟県内における通常値(0.016~0.16 $\mu\text{Sv/h}$ : 既設の柏崎刈羽原子力発電所周辺におけるモニタリングポストの値)の範囲内となっており、工事の実施に伴い放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれはないことから、評価項目として選定しない。	第1号	

注：発電所アセス省令第21条第4項では、次の各号のいずれかに該当すると認められる場合は、必要に応じ参考項目を選定しないものとする定められている。

第1号：参考項目に関する環境影響がないか又は環境影響の程度が極めて小さいことが明らかである場合

第2号：対象事業実施区域又はその周囲に参考項目に関する環境影響を受ける地域その他の対象が相当期間存在しないことが明らかである場合

第3号：特定対象事業特性及び特定対象地域特性の観点からの類似性が認められる類似の事例により影響の程度が明らかなる場合